

平成 27 年度（第 43 回）沖縄県大学図書館協議会

沖縄県図書館行政の現状と方向性

～「読書県おきなわ」への取組み～

<レジュメ・資料>



平成 27 年 8 月 18 日（火）

沖縄女子短期大学 津留 健二

レジュメ

沖縄県図書館行政の現状と方向性

～「読書県おきなわ」への取組み～

沖縄女子短期大学 津留 健二

○ はじめに

1、教育の最新事情と沖縄県図書館行政の背景

(1) 新しい時代「知識基盤社会」

(2) 「新たな貧しさ」に処する教育～「改革」から「新生・再生実行」へ

(3) 生涯学習の理念～教育基本法への明記

2、沖縄県図書館行政の現状と方向性

(1) 沖縄県図書館行政の現状～「教育の目標」と読書環境の現状

<資料1、2>

(2) 沖縄県図書館行政の方向性～「読書県おきなわ」への取組み

① 「知の拠点としての図書館の果たすべき役割」(県社会教育委員の会議
答申) 平成25年3月 <資料3>

② 答申の施策化による「読書県おきなわ」への取組
離島読書活動支援事業 等

「知の拠点」施設整備事業(新県立図書館)

<資料4>

③ 「沖縄県読書活動推進基本計画」(仮称)の策定

<資料5>

3、沖縄県大学図書館協議会への期待

(1) 「読書県おきなわ」への取組に対する指導協力

(2) 「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」への位置づけの検討

(3) 「私立大学等改革総合支援事業(タイプ2 地域発展)への位置づけ

○ おわりに

<資料6>

<資料1> 沖縄県の「教育の目標」

平成元年3月14日 県教育委員会決定

平成21年3月31日 県知事決裁による改正

県は、個性の尊重を基本とし、国及び郷土の自然と文化に誇りをもち、創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興を期して、次のことを目標に教育施策を推進する。

自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ幼児児童生徒を育成する。

平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な県民を育成する。

学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会の実現を図る。

幅広い教養と専門的能力を培うとともに、高い公共性・倫理性を保持しつつ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材を育成する。

<資料2> 沖縄県読書環境の現状

沖縄県の読書環境の現況 (平成23年度県教育庁調査)

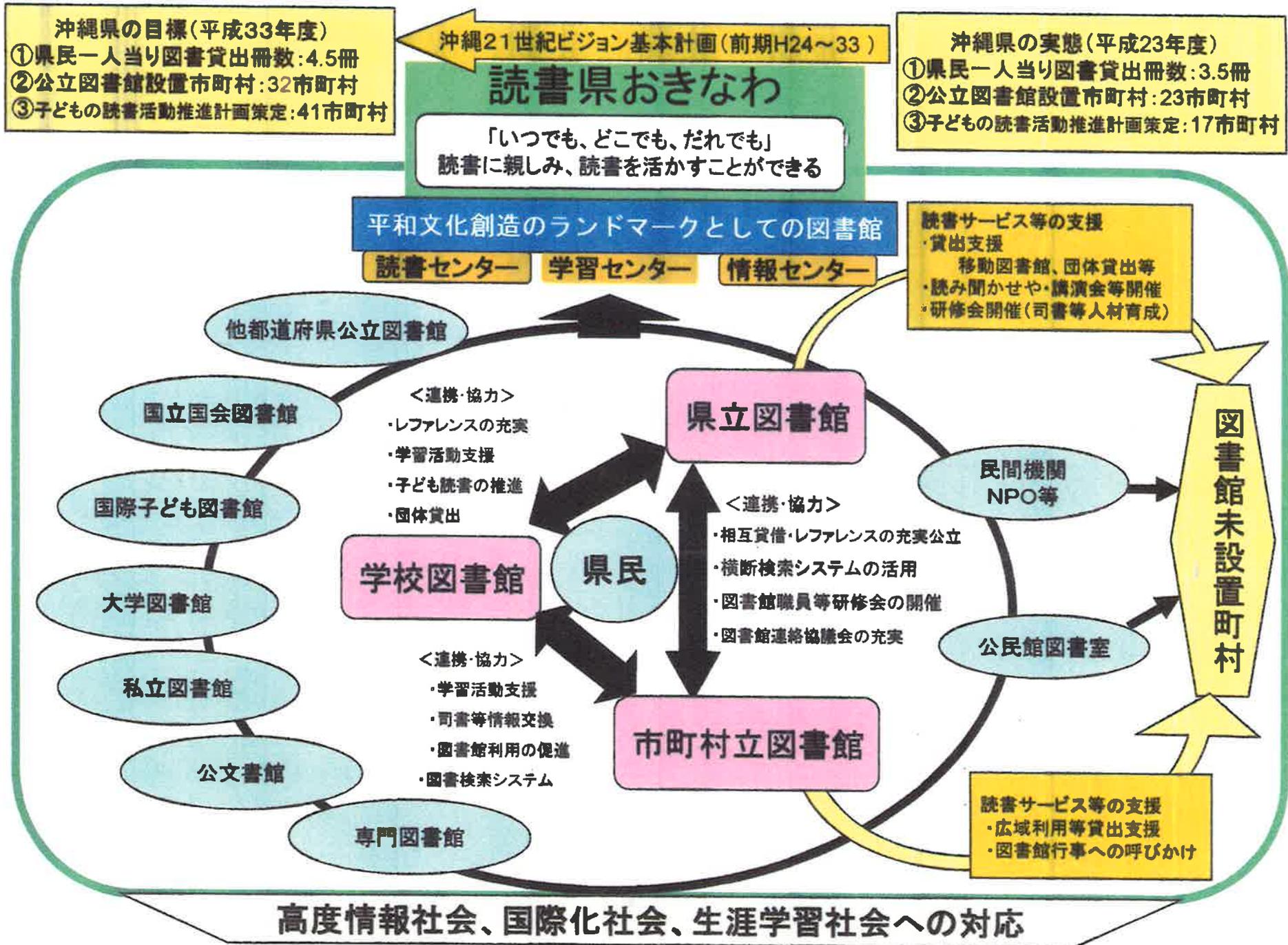
調査項目	平成23年度現在の状況
県民一人当りの 公立図書館貸出冊数	約3.5冊 (全国約5.6冊)
公立図書館設置状況	県立図書館(1館) 市町村立図書館(36館) 41市町村中23市町村が設置(56.1%) (全国設置率74.1%) 町村立図書館の設置率(40% 7町5村)
子どもの読書活動推進 計画の策定状況	県は、平成21年に「第二次沖縄県子どもの読書 活動推進計画」を策定 各市町村の計画については、41市町村中20市 町村が策定(策定率48.8%) (全国53.8%)
図書館未設置町村の 読書環境 ・18町村が未設置 (18町村中11町村 が離島町村)	○公民館等図書室の利用：9町村 ○学校図書館の開放：11町村 ○県立図書館の利用 移動図書館：15町村 一括貸出：8町村 ○近隣市町村の利用：8町村 ○地域文庫の利用：5町村 ○図書館設置予定：3町村

沖縄県学校図書館・読書活動の実態調査

学校図書館の 利用状況	児童・生徒一人当りの貸出冊数(平成23年度) 小学校：163.9冊 中学校：50.8冊
----------------	---

本県の図書館設置率は低く、離島11町村を含む18町村が図書館未設置である。現在は、未設置町村への支援として、県立図書館による移動図書館や団体(一括)貸出による読書サービスの提供、他の市町村の広域利用による読書サービス等を行なっている。

<資料 3> 連携構想図



141

<資料4>

沖縄振興「知の拠点」施設整備事業（新県立図書館）について 生涯学習振興課

沖縄振興「知の拠点」施設整備事業<新県立図書館>について

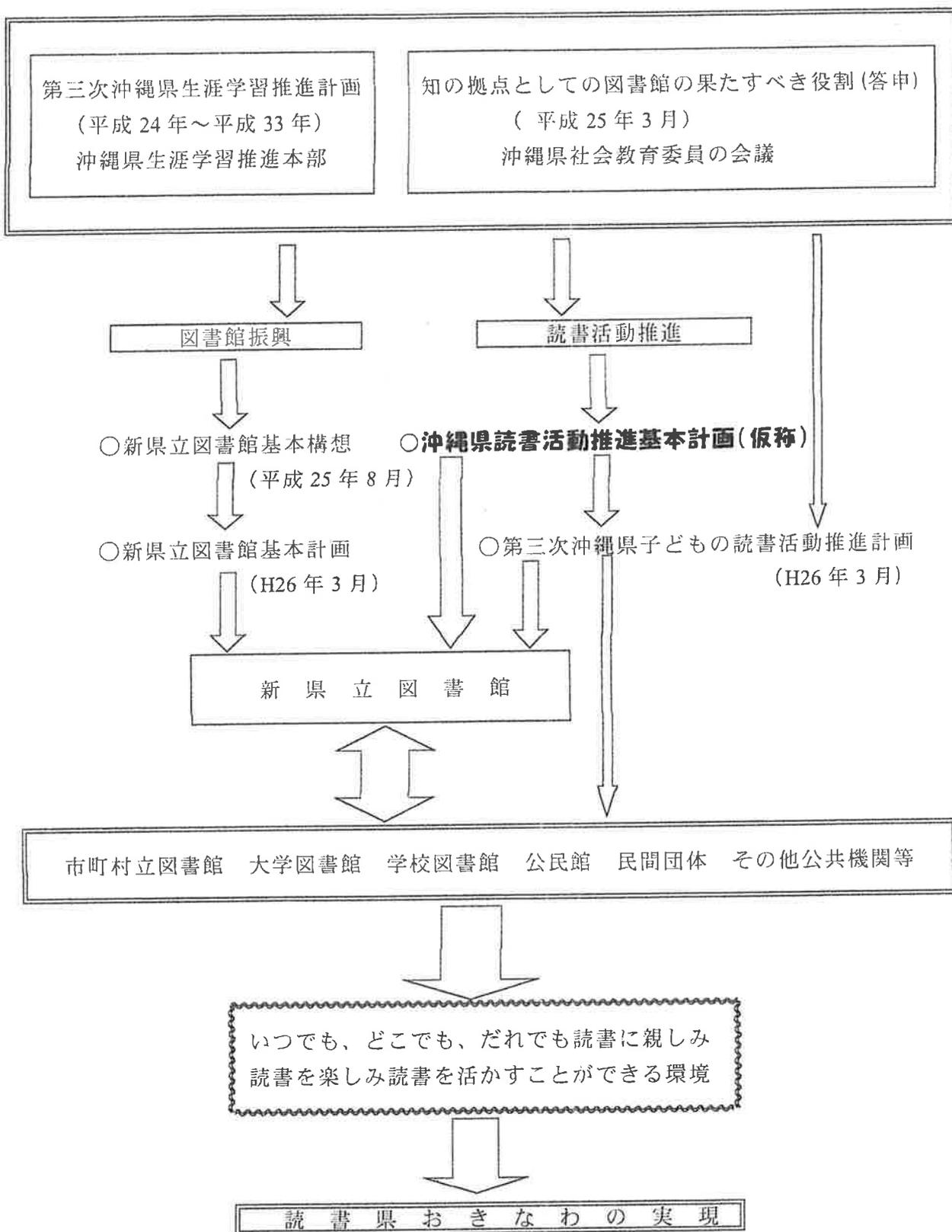
1. 施設概要

	新県立図書館	現在
規模	約13,085㎡(3階～6階の4層構成)	約6,844㎡
収蔵冊数	216万冊(開館当初は166万冊)	70.8万冊
総事業費	総事業費 9,269,678千円(平成27年度～平成29年度)	
スケジュール	・工期(平成27年9月末～平成30年3月) ・開館(平成30年夏頃)	

2. 各フロア構成

7階～11階 事務所等			駐 車 場 約340台
6階 全体をコントロールする管理運営フロア(1,605㎡) ・管理運営諸室 ・館外協力エリア		グッズジョブ センター	
5階 郷土資料を中心とした静寂で集中できる閲覧空間(4,388㎡) ・郷土資料エリア			
4階 様々な機能が集まった本館の最も大きなフロア(4,559㎡) ・ブラウジングコーナー(新聞・雑誌) ・ビジネスエリア ・一般閲覧エリア ・交流ルーム			
3階 利用者を受け入れる活動的なフロア(2,533㎡) ・エントランスホール ・コミュニケーションラウンジ ・総合カウンター ・ホール ・児童書・ティーンズ・子育て支援エリア		商業施設	
2階 観光施設	商業施設		
B1階～1階 バスターミナル			

<資料5> 読書活動推進基本計画の位置づけイメージ図



<資料6> 読書活動の推進→「読書県おきなわ」の実現

読書活動の推進

